

うるわし通信



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成26年6月

コミュニティ・カレッジ 知の森

大福に開講した「コミュニティ・カレッジ 知の森」が大変賑わっています。これはNPO法人「コミュニケーション研究センター」が運営するもので、理事長は島岡将氏。教室は大福駅から歩いて3分の至近距離で、地元は教育によるまちおこしの観点から全面的に協力されています。

4月から連休を除く毎日曜日に開講されたオムニバス講座「グローバル社会と国際協力」はもっとも人気が高く、毎回20~25人が受講していました。楽しく充実した時間を過ごし、熱の入った質疑応答に、予定の終了時間を2時間もオーバーすることもありました。

高校生の姿が4~5人あることも新鮮で、積極的に意見を発表していました。女子大生をふくめ女性の受講生が多かったのですが、6回の講座の中で男性もかなり参加した日もありました。

受講料が安いことも魅力の一つですが、これは地元企業の支援によるものです。

自由な雰囲気が楽しい。というのが実際に受講した、わたしの感想です。

わたしたちだけが楽しんでいるのかといえばそうでもなく、講師からも「活気がある質問がどしどし飛び出してきて、楽しかった」とのメールがあとで島岡氏のもとに届いたとのこと。

記憶に残る質問は「援助資金は返済してもらっているか。」：答「返ってきている。」この質疑応答を通じて、私は、日本も国際支援を受けていて、新幹線・高速道路・黒部ダムを造り、1990年に完済したことを知りました。

質問「ベトナムが受けている海外支援の30%は日本からで、日本は最大支援国であり、この資金による事業は実際には日本の大手建設会社が落札している。ヒモ付き援助ではないか。」：答「諸外国からこうした批判の声が強かったが、現在、日本企業の落札は20%位にさがっている。」

質問「デンマークが3%支援しているが、何を支援していますか。」：答「デンマークはすべて無償援助で内容は福祉医療など人道支援です。」

質問「原発輸出に関して」：答「アジア民族の特性を重視し、人間力の向上を目指している。科学を迷信する怖さを教えている。その他、農業を軽視してはいない、少数民族の保護を考えている。」

日本は、今までのやり方を変えて今後は企画の側に、製造・製品は途上国が受け持つように、つまり、主演は途上国、日本は演出家になるべきだ。という考えのあることも知りました。

島岡理事長は、「桜井の視線は常に過去へ向き勝ちである。『知の森』は世界へ、未来への視線を養って行きたい。この大福で教育を通じたまちづくりをしたい。」と語っておられます。

(浅川 肇)

受講生の声

嶋田 耕太(桜井高校3年)：将来、国際協力に参加したい。大学に進学後は在籍中に途上国へ行きたい。卒業後は海外に出て直接、支援したい。

下浦 ほのか(桜井高校3年)：年齢の違う人と交流ができ、同年輩ではない人の考えを知ることができた。視野が広がった。

永井 妙美(JICA職員)：国際協力レポーターを募集しています。東ティモール・エチオピア、経費はJICAが負担します。

森本 恭子(タピストリー作家)：外国には16ヶ国行った。途上国には関心がある。どうすれば平和な国づくりができるか考えている。ユニセフに協力している。

松塚 信夫(地元の人)：楽しかった。質問も講師の先生の答えも良かった。今後も機会があれば来たい。

松塚夫人(主婦)：国際協力について知らなかったが、身近に考えるようになった。

山科 健吉(日本語教師)：先生が楽しそうに話されていたのが印象に残る。ジャパン・ファンデーションで15年間働いた。日本はこれから主演は海外に任せて演出家になるべきだ。

杉本 眞希(大学生：国際関係学専攻)：この春、カンボジアで現地の人と交流した。この講座でもっと勉強したい。また来たい。

清家 沙貴(大学生：法学専攻)：名張市からです。視野を拡げたくて参加した。

宮橋 幸子(主婦)：勉強して孫にも伝えたい。

中澤 和美(主婦)：JICAがどういうものかわからなかったが、講師が上から目線でなく、相手に協力していることがわかった。楽しかった。

小西 笙子(桜井市生活学校)：兄がケニアで国際協力活動をしていた。世界の80%が途上国だと知った。



映画『じんじん』上映会のお礼と報告

映画『じんじん』桜井市上映会実行委員会代表 福島 千佳

映画『じんじん』は5月18日午前午後の2度にわたり上映、無事終了しました。当日は20名以上の方が快くお手伝いを引き受けて下さいました。ありがとうございます。

また多くの市民団体に、お声かけ、呼びかけをして頂きました。上映活動を通じて多くの方と知り合い、関わり合い、つながりを持つことができました。わたしはこのことを大切に思います。これからもいろんなことに挑戦していきたいと思っています。

どうか、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



桜井市民会館玄関前

「収支報告」

	科目	金額:円	備考
収入	上映収入	27,450	チケット販売数549枚 549,000円 (実行委員会の収入5%の規定による)
支出	絵本『クロコダイルとイルカ』購入費	19,440	保育所など15施設へ寄付
	お菓子代	7,776	絵本が不要な団体などへ
	コピー代	234	お礼状印刷費
決算残高		0	

●お礼状が届きました

うるわしの桜井をつくる会 様

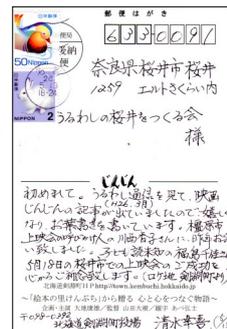
初めまして。うるわし通信を見て、映画『じんじん』の記事が出ていましたので嬉しくなり、お葉書を書いています。橿原市上映の呼びかけ人の川西香子さんに、昨年お会い致しました。子ども読未知の福島千佳さん、5月18日の桜井市での上映会のご成功を心からご祈念します。

〒098-0392

(ロケ地：剣淵町より)

北海道剣淵町役場 清水 幸喜 5月13日

*葉書を頂いて、すぐ電話でお礼をいいました。清水氏は副町長さんでした。(編集部)



●映画『じんじん』鑑賞レポート 森田 明美(桜井市市民活動交流拠点)

おばあちゃんが子供たちに昔話をしている場面や読み聴かせの会の人達が、子供たちに絵本を読んでいる場面、主人公が幼い娘と本を見ながら色んな会話をする場面等は、子育てには昔話や読み聞かせ、本を通じての会話が、とても大切だと強く思いました。

どんなに便利な時代になっても、人として忘れてはならない大切なこと、助け合うこと、約束を守ること、思いやること、感謝の気持ち。

親子愛、友情だけでなく、あらゆる場面の人間関係に『愛』や『絆』が、じんじんと伝わり、たくさんの人達に観ていただきたいと思う素晴らしい映画でした。

事務局だより

- 6月の常任理事会は、総会開催月により休会となります。
- 第4回定時総会は、6月14日(土)午後1時より「あるぼーる」にて開催します。
- 午後2時10分からは、同会場にて甲斐弓子氏(帝塚山大学考古学研究所特別研究員)による公開講演会「聖徳太子の心を想う 古代の要・桜井の地と人々」を開催します。参加無料

お知らせ

- 健康づくり教室開始のお知らせ
日時 6月17日(火)午後1時30分から 場所 まほろばセンター研修室
講師 尾上 嘉則(おのうえカイロプラクティックハウス)
問い合わせ先 浅川 肇 TEL:090-1961-6345 参加費無料

- 桜井市生活学校 お話の会
日時 6月19日(木)午後1時30分から 場所 桜井市公民館大会議室
講師 植村 幸子(うるわしの桜井をつくる会会員)
演題 「もっと知りたい 万葉の桜井」
問い合わせ先 小西 笙子 TEL:0744-43-1415 参加無料

- 図書館友の会
総会は5月23日に持ち、新に会計に中澤和美氏
アドバイザーに島岡將氏が就任されました。
6月の読書会は大岡昌平著『野火』
フィリピンを敗走する一兵士の物語りです。
日時 6月24日(火)午後1時30分から
場所 まほろばセンター研修室
問い合わせ先 浅川 肇 TEL:090-1961-6345
友の会会員以外の参加も歓迎します。



- 講演会のお知らせ
日時 7月10日(木)午後7時から
場所 桜井東ふれあいセンター TEL:0744-47-7026
講師 藤井 義晴(うるわしの桜井をつくる会会員)
講演 「本居宣長『菅笠日記の旅・桜井』明和の春・大和」 参加費無料

編集後記 2月にフィリピンのミンナダオ島にある「ミンナダオ子ども図書館」へ行った。ここは孤児や通学困難な児童150名を収容・保護している。4泊して子どもたちとも、現地の人とも交流して楽しかった。英語の能力が私にないので、嬉しさなど直接伝えられなかったのが残念だった。外国語がわからないのに外国、特にアジア・中東に関心があり、永住先を探す気持ちもまだ持っている。
(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345